

令和5年度全国学力学習状況調査結果（小学校）

和光市教育委員会調査結果概要

◆教科に関する調査結果

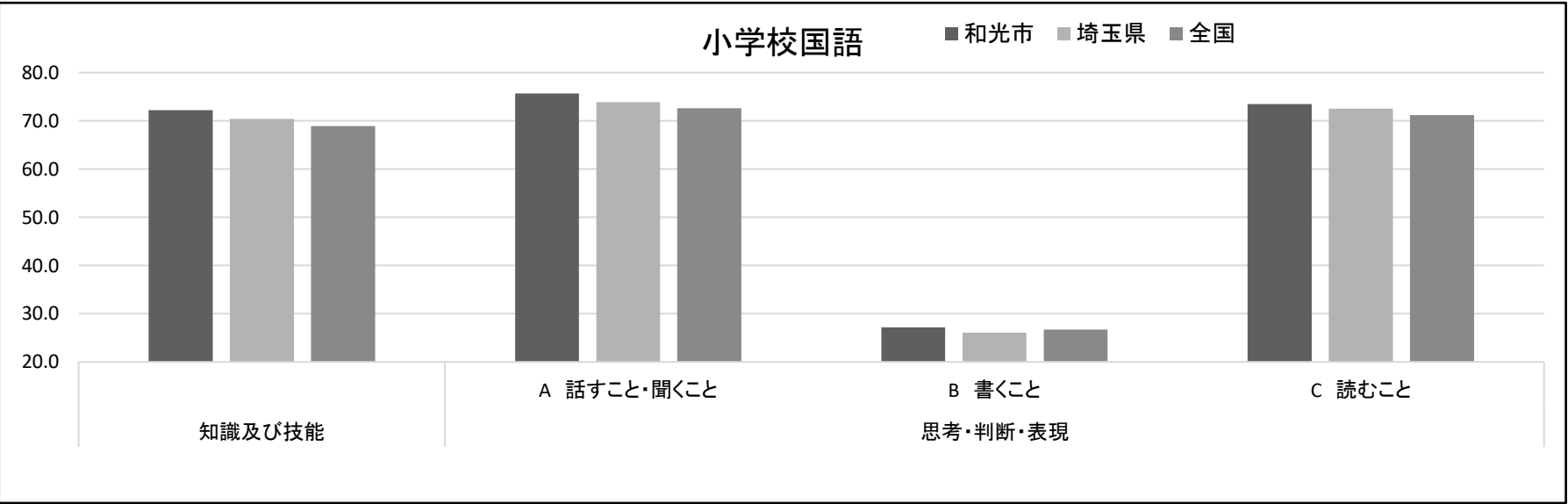
＜小学校概要＞

		平均正答率（単位％）			
教 科		和光市	埼玉県	全国	県差
国語		70.0	68.0	67.2	2.0
算数		66.0	62.0	62.5	4.0

・全教科で、県平均、全国平均を上回っている。

＜小学校国語＞

		平均正答率（単位％）			
学習指導要領の領域等での区分		和光市	埼玉県	全国	県差
知識及び技能		72.2	70.4	68.9	1.8
思考・判断・表現	A 話すこと・聞くこと	75.7	73.9	72.6	1.8
	B 書くこと	27.2	26.1	26.7	1.1
	C 読むこと	73.5	72.5	71.2	1.0

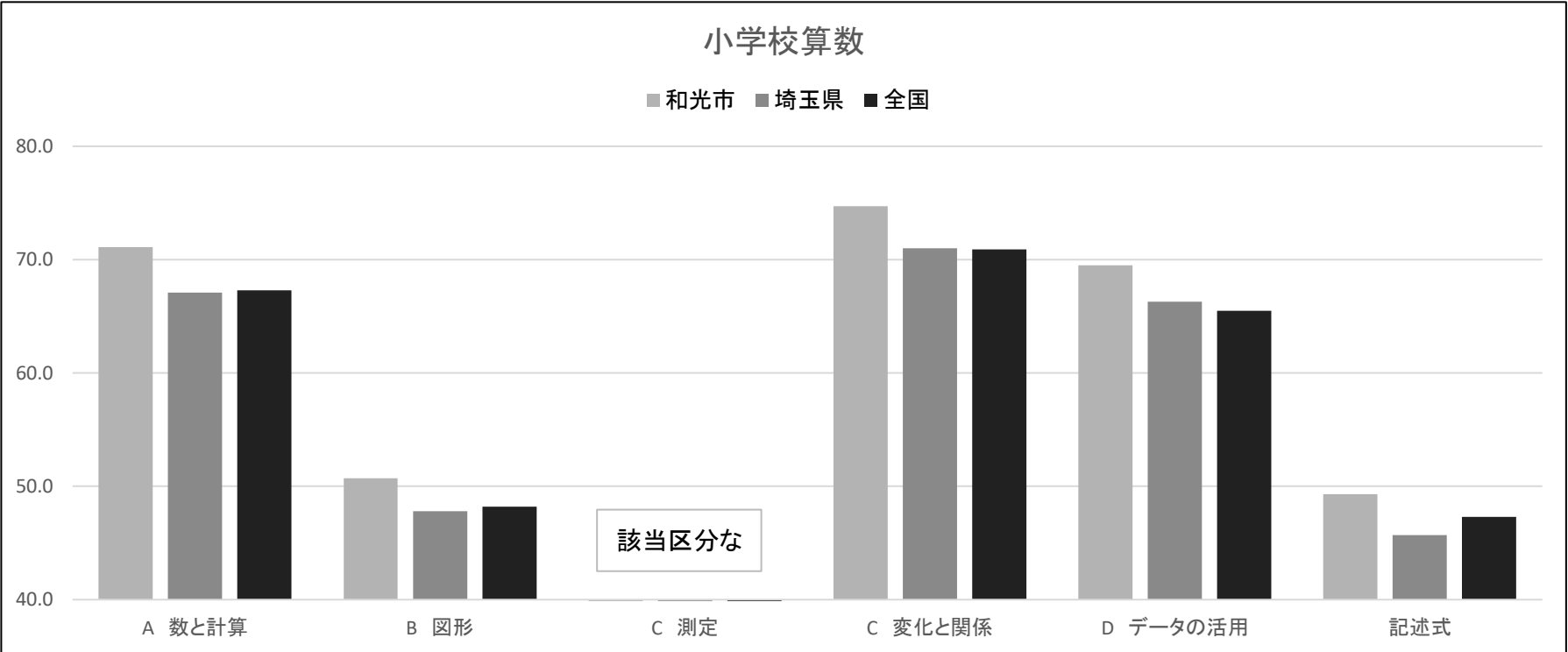


- 【知識及び技能】【話すこと・聞くこと】【書くこと】【読むこと】
 - ・全体としては県平均、全国平均ともに上回っている。
 - ・「書くこと」は正答率は県平均や全国平均を上回っているが、無回答率は14. 5％であり、県平均13. 0％、全国平均14. 3％と上回っている
- 【知識及び技能】
 - ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと（いがい→意外）に課題がある。いがいという漢字は複数あり、文脈からどの漢字を使うのか判断する必要がある。
 - ・敬語の使い方に課題がある。言うの尊敬語→おっしゃる、聞くの謙譲語→うかがうの理解度が低い。
- 【話すこと・聞くこと】
 - ・話し手が伝えたいことや、自分が聞きたいことの中心をとらえることができる。
- 【書くこと】
 - ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き方を工夫することに課題がある。
 - ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題がある。
 - ・目的や意図に応じて、話を内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題がある。
 - ・無回答率が高いことから、文章を書くことに抵抗を感じ、解くことをあきらめてしまう児童が多いと考えられる。
 - ・「解説資料」の採点基準では、問題文に提示されている条件を満たした解答でなければ正答とはみなされない。自分の考えを書いても部分点をもらえないので、「書くこと」では27. 3％という結果になったと考えられる。
- 【読むこと】
 - ・複数の資料を読み、中心となる語や文を見つけて、要約することはできる。
 - ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けて必要な情報を取り出すことはできる。

＜小学校算数＞

平均正答率(単位%)

学習指導要領の領域等での区分	和光市	埼玉県	全国	県差	全国差
A 数と計算	71.1	67.1	67.3	4.0	3.8
B 図形	50.7	47.8	48.2	2.9	2.5
C 測定	－	－	－	－	－
C 変化と関係	74.7	71.0	70.9	3.7	3.8
D データの活用	69.5	66.3	65.5	3.2	4.0
記述式	49.3	45.7	47.3	3.6	2.0



- 【数と計算】【図形】【変化と関係】【データの活用】
 - ・全体的に県平均、全国平均を上回っている。
 - ・図形の記述では、正答率が全国平均を下回っている。
 - ・記述では、無回答率が県平均や全国平均を上回っている項目がある。
- 【数と計算】
 - ・計算問題はできている。
 - ・2位数÷1位数(66÷3)の筆算について、各段階の商の意味を理解することに課題がある。
- 【図形】
 - ・正三角形や二等辺三角形・台形の性質を理解することに課題がある。
 - ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係をもとに面積の大小を判断することに課題がある。
- 【変化と関係】
 - ・伴って変わる2つ数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉で表現することに課題がある。
- 【データの活用】
 - ・2種類の棒グラフの違いを読み取り、言葉と数を用いて違いを説明することに課題がある。